

2023年度 47期生 3年次 カリキュラム 一覧

分野	学科目	教科目	単位	講義時間		講義回数	講師	配点	実務経験の有無	ページ
専門Ⅱ	成人看護学実習Ⅰ（慢性期）		2	90	90	実習要項参照	専任教員(看護師)	100	有	1
専門Ⅱ	成人看護学実習Ⅱ（急性期）		2	90	90		専任教員(看護師)	100	有	2
専門Ⅱ	成人看護学実習Ⅲ（終末期）		2	90	90		専任教員(看護師)	100	有	3
専門Ⅱ	老年看護学実習Ⅰ（看護の展開）		2	90	90		専任教員(看護師)	100	有	4
専門Ⅱ	老年看護学実習Ⅱ（入所・通所施設におけるケア）		2	90	90		専任教員(看護師)	100	有	5
専門Ⅱ	小児看護学実習		2	90	90		専任教員(看護師)	100	有	6
専門Ⅱ	母性看護学実習		2	90	90		専任教員(看護師)	100	有	7
専門Ⅱ	精神看護学実習		2	90	90		専任教員(看護師)	100	有	8
統合	看護の統合と実践Ⅱ	技術到達度評価	1	30	30	15	副校長(看護師) 専任教員(看護師)	100	有	9
統合	看護研究	ケーススタディ	2	45	35	18	専任教員(看護師)	100	有	10
統合	看護研究	導入・レポートの書き方			2	1	専任教員(看護師)		有	
統合	看護研究	統計			8	4	外部講師		有	
統合	在宅看護論実習		2	90	90	実習要項参照	専任教員(看護師)	100	有	11
統合	統合実習		2	90	90	実習要項参照	専任教員(看護師)	100	有	12
特別科目	済生会概論Ⅱ	ゼミ	1	15	8	4	副校長(看護師)	50	有	13
特別科目	済生会概論Ⅱ	済生丸実習			7	1	専任教員(看護師)	50	有	
実務経験「有」の教員等の授業科目の単位数合計										24

【単位修得の認定について】

全ての授業科目試験の成績の評価は、100点満点で優（100～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（60点未満）とし、60点以上をもって及第点とする。

## 2023年度授業計画（シラバス）

教授科目	成人看護学実習Ⅰ（慢性期）		担当講師名	専任教員(看護師)
対象学生	2023年度 3学年	単 位	2単位（90時間）	実務経験 有
授業目標	慢性期において寛解と憎悪を繰り返す対象に必要な看護が展開できる能力を養う。			
授業計画	看護学実習要項参照			
教科書				
参考書				
授業の進め方				
評価の方法	実習内容、実習記録、カンファレンス、出席状況などをもとに評価、単位認定を行う			
メッセージ				

## 2023年度授業計画（シラバス）

教授科目	成人看護学実習Ⅱ（急性期）		担当講師名	専任教員(看護師)
対象学生	2023年度 3学年	単 位	2単位（90時間）	実務経験 有
授業目標	周術期において生命の急激な変化が予測される対象に必要な看護を展開できる能力を養う。			
授業計画	看護学実習要項参照			
教科書				
参考書				
授業の進め方				
評価の方法	実習内容、実習記録、カンファレンス、出席状況などをもとに評価、単位認定を行う			
メッセージ				

## 2023年度授業計画（シラバス）

教授科目	成人看護学実習Ⅲ（終末期）		担当講師名	専任教員(看護師)
対象学生	2023年度 3学年	単 位	2単位（90時間）	実務経験 有
授業目標	終末期において全人的苦痛のある対象に必要な看護を展開する能力を養う。			
授業計画	看護学実習要項参照			
教科書				
参考書				
授業の進め方				
評価の方法	実習内容、実習記録、カンファレンス、出席状況などをもとに評価、単位認定を行う			
メッセージ				

## 2023年度授業計画（シラバス）

教授科目	老年看護学実習Ⅰ（看護の展開）		担当講師名	実習指導教員(看護師)
対象学生	2023年度 3学年	単 位	2単位（90時間）	実務経験 有
授業目標	老年期の特徴を理解し、加齢に伴って起こる健康障害をもつ対象に必要な看護を展開できる能力を養う。			
授業計画	看護学実習要項参照			
教科書				
参考書				
授業の進め方				
評価の方法	実習内容、実習記録、カンファレンス、出席状況などをもとに評価、単位認定を行う			
メッセージ				

## 2023年度授業計画（シラバス）

教授科目	老年看護学実習Ⅱ（入所・通所施設におけるケア）		担当講師名	実習指導教員(看護師)
対象学生	2023年度 3学年	単 位	2単位（90時間）	実務経験 有
授業目標	入所・通所施設における高齢者を通して老年期の特徴を理解し、それを支える看護及び社会資源の活用について学ぶ。			
授業計画	看護学実習要項参照			
教科書				
参考書				
授業の進め方				
評価の方法	実習内容、実習記録、カンファレンス、出席状況などをもとに評価、単位認定を行う			
メッセージ				

## 2023年度授業計画（シラバス）

教授科目	小児看護学実習		担当講師	教務主任(看護師)
対象学生	2023年度 3学年	単 位	2単位 (90時間)	実務経験 有
授業目標	小児の特徴を理解し、小児の健全な成長・発達を助けるとともに、健康障害を持つ小児とその家族に対して必要な看護が実践できる能力を養う。			
授業計画	看護学実習要項参照			
教科書				
参考書				
授業の進め方				
評価の方法	実習内容、実習記録、カンファレンス、出席状況などをもとに評価、単位認定を行う			
メッセージ				

## 2023年度授業計画（シラバス）

教授科目	母性看護学実習		担当講師	専任教員(看護師)
対象学生	2023年度 3学年	単 位	2単位（90時間）	実務経験 有
授業目標	周産期にある母性の特徴を理解し、母子及び家族に対して看護を実践する能力を養う。			
授業計画	看護学実習要項参照			
教科書				
参考書				
授業の進め方				
評価の方法	実習内容、実習記録、カンファレンス、出席状況などをもとに評価、単位認定を行う			
メッセージ				



## 2023年度授業計画（シラバス）

教授科目	精神看護学実習		担当講師	専任教員(看護師)
対象学生	2023年度 3学年	単 位	2単位 (90時間)	実務経験 有
授業目標	精神障害のある対象を理解し、その治療および看護の実践を通して看護師の役割を理解する。			
授業計画	看護学実習要項参照			
教科書				
参考書				
授業の進め方				
評価の方法	実習内容、実習記録、カンファレンス、出席状況などをもとに評価、単位認定を行う			
メッセージ				

## 2023年度授業計画（シラバス）

教授科目	看護の統合と実践Ⅱ			担当講師	専任教員(看護師) 副校長(看護師)
対象学生	2023年度 3学年	単 位	1単位 (30時間)	実務経験	有
授業目標	卒業時に求められる知識・技術を習得し、対象の状態に応じた看護を実践できる。				
授業計画	<p>1：オリエンテーション(学習の進め方、社会人基礎力について)  事例1：グループワーク（事例患者の病態について学習し、今後起こりうる合併症や症状について理解する。また、その合併症や症状が起こった際にどのような看護が必要か学習する）  2：事例2：グループワーク（事例患者の病態について学習し、今後起こりうる合併症や症状について理解する。また、その合併症や症状が起こった際にどのような看護が必要か学習する）  3：事例1、事例2についてグループワーク（発表用に模造紙作成。発表に間に合うように作成し、5/30の時間までにラウンジor教室5・6の壁に貼付しておく）  4：的確な報告の方法について（S B A R）講義&amp;グループワーク  5：事例1についてグループごとに発表  6：事例2についてグループごとに発表  7：事例1についてシミュレーション演習  8：事例2についてシミュレーション演習  9：事例1、事例2のシミュレーション演習を終えて不足している知識についてグループワーク  10～14：事例1、2について技術演習  15：振り返り（事例1、事例2、社会人基礎力について）</p>				
教科書	事例の病態生理や看護を学習することができるテキスト				
参考書	事例の病態生理や看護を学習することができるテキスト				
授業の進め方	講義、演習、グループワーク				
評価の方法	技術試験				
メッセージ	患者の状態を把握するためには、観察する根拠を理解し、正しく観察する方法を身につけておかなければなりません。病態から今後、患者に起こりうることを推論し、今できる最善の看護は何なのかということ判断できる能力を養いましょう。				

## 2023年度授業計画（シラバス）

教授科目	看護研究			担当講師	外部講師 専任教員(看護師)
対象学生	3学年	単 位	2単位（45時間）	実務経験	有
授業目標	看護現象を客観的に捉え、その中に存在する疑問あるいは問題を科学的に探求する能力を養う。				
授業計画	<p>I. ケーススタディ（専任教員：37時間）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 指定された実習期間での事例を用いて、ケースにまとめる</li> <li>2. レポート提出</li> <li>3. 最終提出</li> <li>4. 抄録提出</li> <li>5. ケーススタディ発表会</li> </ol> <p style="margin-left: 300px;">} 提出日は初回の講義で伝える</p> <p>II. 統計（外部講師：4回8時間）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 統計学の基礎・母集団と標本</li> <li>2. 変量と尺度・記述統計・推測統計</li> <li>3. データのグラフ表現</li> <li>4. 病院統計の作成と意義・主な統計調査</li> </ol>				
教科書	看護師・保健師をめざす人のやさしい統計処理－保健・医療データの活用－（実教出版） ISBN：978-4-407-34953-5				
参考書					
授業の進め方	ケーススタディ：担当教員からの指導を受け、主体的に取り組む。最終的に発表会を行う。 統計：パソコン（Excel）と教科書を使用し、授業を進める。				
評価の方法	ケーススタディ：取り組み～発表までを評価する 統計：レポート・授業態度で評価する				
メッセージ	医療における統計処理の必要性や理解のための導入です。レポートや研究のために必須分野です。（外部講師）				

## 2023年度授業計画（シラバス）

教授科目	在宅看護論実習			担当講師	専任教員(看護師) 教務主任(看護師)
対象学生	2023年度 3学年	単 位	2単位(90時間)	実務経験	有
授業目標	<p>地域で生活する療養者と、その家族（対象者）を全人的にとらえて、対象者の生活を重視し理解する。その生活の中で、対象者の健康状態を理解し、生活の継続を支援するために必要な看護が実践できる能力を養う。</p> <p>保健・医療・福祉の連携を学び、多職種と協働する中での看護の役割を理解する。</p>				
授業計画	看護学実習要項参照				
教科書					
参考書					
授業の進め方					
評価の方法	実習内容・実習記録・カンファレンス・出席状況などをもとに、評価・単位認定を行う。				
メッセージ					

## 2023年度授業計画（シラバス）

教授科目	統合実習		担当講師	教務主任(看護師)他
対象学生	2023年度 3学年	単 位	2単位(90時間)	実務経験 有
授業目標	<p>臨地実習において、複数の対象を受け持ち看護実践をととして個々の対象の状況を判断して優先順位を決定し、時間管理ができる能力を養う。 看護チームの一員として看護師の役割を理解し自覚と責任を養う。</p>			
授業計画	実習看護学実習要項参照			
教科書				
参考書				
授業の進め方				
評価の方法	実習内容・実習記録・カンファレンス・出席状況などをもとに、評価・単位認定を行う。			
メッセージ				

## 2023年度授業計画（シラバス）

教授科目	済生会概論Ⅱ（済生丸実習）		担当講師	副校長(看護師)他
対象学生	2023年度 3学年	単 位	1単位（15時間）	実務経験 有
授業目標	済生丸健診活動を知る。 地域の特徴と住民の健康状態や健康問題との関係を知る。 保健活動の基本的知識を得る。			
授業計画	1.2.3回 授業のオリエンテーション グループ学習 ① 実習目標「地域社会の特色と健康問題が認識できる」を達成するため、事前に島の特徴と住民の健康に関することを学習 （内容）・環境と経済など、人口の推移と構成の特徴 ・島民の生活環境から健康問題を考える ・地域の健診の実際（受診状況）など ・事前に得られなかった内容など実習で習得したいこと ② 健康支援、保健活動について理解する （内容）・保健活動の基盤となる法や施策 A.地域保健、B.母子保健、C.精神保健、D.学校保健、 E.A～D以外の保健活動の基盤となる法や施策  4回 グループ発表 ①全体発表 時間は1グループ7分 ②各グループ内で分担し担当者が発表（1項目7分）  5-8回 済生丸実習			
教科書	なし			
参考書	実習要項、各自で必要なテキストや資料を準備			
授業の進め方	演習、実習			
評価の方法	演習・発表、テスト（②）、実習「済生丸実習を終えて」レポート 済生会概論Ⅱ評価表の自己評価をつけて提出してください。			
メッセージ				